

連続セミナー

Black Lives Matter 運動から学ぶこと

—多文化共生、サステナビリティについて考えるために—

アフリカ系アメリカ人に対する警官の暴力への抗議活動として始まったBLMの呼びかけは、2020年5月のジョージ・フロイドさん殺害事件をきっかけとして、様々な運動と共鳴しながら瞬く間に世界に広がりました。今回のセミナーでは、東京外国語大学の二人の研究者が、BLMとの共鳴を引き起こした現代世界の状況を運動論の観点から考えます。

BLACK LIVES MATTER

第2回
2nd

運動論から考えるBLM

司会：武内 進一（現代アフリカ地域研究センター）

2020年11月25日(水)17:40～19:10
Zoomウェビナーでのオンライン開催

- 使用言語：日本語
- 参加費：無料
- 事前申し込みが必要です。(本学学生優先。先着受付順。定員に達した場合参加をお断りさせていただく場合がございます。)
- 参加ご希望の方は、11月20日(金)正午までに、以下のQRコードを読み取り、参加登録フォームより事前登録をお願いいたします。
本学ホームページからも登録できます。
http://www.tufs.ac.jp/event/2020/201023_1.html
- 問い合わせ先：BLM-seminar@tufs.ac.jp (連続セミナー担当)



QRコードはデンソーウェアの登録商標です。

共催：東京外国語大学
多文化共生研究創生WG、海外事情研究所、国際日本研究センター

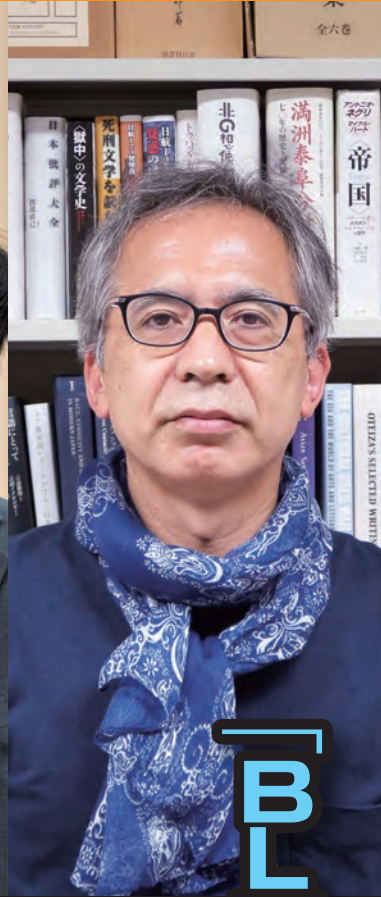
▶ 今後開催予定テーマ

- 12月23日(水)：社会の中の分断と融和
- 1月20日(水)：『差別を支えてきたもの』はなににか
- 2月10日(水)：グローバリゼーション、アフリカ、BLM ほか



「民主主義とネクロポリティクス」

岩崎 稔
(大学院総合国際学研究院教授)
西洋哲学、西洋思想史



「BLMの文化交差性と日系移民史」

友常 勉
(大学院国際日本学研究院教授)
日本思想史、近現代部落史

連続セミナー「Black Lives Matter 運動から学ぶこと —多文化共生、サステナビリティについて考えるために—



<https://ja.crimethinc.com/>

5月に米国で起こった事件を契機として始まったBlack Lives Matter 運動の広がりや、世界中で、これまで「他者」の問題だったものを、たちまち「私たち」の問題として浮き上がらせている。

本連続セミナーでは、このBLM運動を多角的な視点から考察するとともに、日本を含む世界の諸地域における、エスニシティ、ナショナリズム、植民地主義、差別、移民、同化、ジェノサイド等々、幅広い領域に関わる論点と接合させることで、この運動が、今ここに生きる「私たち」に問いかける「多文化共生とは何か」、「サステナビリティとは何か」といった課題をともに考えていく。

第2回〈連続セミナー〉 2nd 運動論から考えるBLM

運動としてのブラック・ライブズ・マターは、2013年7月に始まった。黒人少年を射殺した加害者の無罪判決に対して、「黒人の命は大切」とメッセージを示し、ハッシュタグをつけ、フェイスブックのコミュニティに載せた三人の若い黒人女性の試みが共感を呼び、現実のアクションにつながったからだ。その手法はすでに2016年頃には評価されていたが、一挙に盛り上がったのは2020年5月、ジョージ・フロイド殺害の事件をきっかけにである。とはいえ、問題は黒人差別だけではない。コロナショック2020年の世界を見渡せば、タイやベラルーシ、香港などの市民や若者たち、#Me tooやフラワーデモの女性たちなど、各地で声を上げる人びとがあらわれ、日本社会にも大きなうねりが生じ始めている。ひとは誰も、みずからの尊厳をおびやかす力に抗わなければならない、否、「いやだ」と言っているのである。具体的な事例も視野に入れ、運動をめぐる考え方や構造を掘り下げて論じていく。

Profile

岩崎 稔 (大学院総合国際学研究院教授)

専門は西洋哲学、西洋思想史。著書、論文として、『アジアの戦争と記憶—20世紀の歴史と文学』(共編著、勉誠出版、2018年)、『立ちすくむ歴史—E.H.カー『歴史とは何か』から50年』(共著、せりか書房、2012年)、『現代の価値観で過去を裁くな』論のおかしさ: B L M運動の『銅像破壊』を巡って』<<https://gendai.ismedia.jp/articles/-/75419>> (『現代ビジネス』2020年9月6日号)、などがある。

Profile

友常 勉 (大学院国際日本学研究院教授)

専門は日本思想史、近現代部落史。著書、論文として、『夢と爆弾—サバルタンの表現と闘争』(航思社、2019年)、『戦後部落解放運動史—永続革命の行方』(河出書房新社、2012年)、『アメリカ黒人暴動史』『ブラック・ライブズ・マター: 黒人たちの叛乱は何を問うのか』(河出書房新社、2020年、pp.72-80)、などがある。

■ 第3回セミナー「社会の中の分断と融和」は12月23日(水)に開催します。

本学と神戸市外国語大学との合同セミナーです。こちらも是非ご参加ください!